

ニューヨーク補習授業校

補習校だより

平成21年 2月号
2/20/10 発行
56 Harrison Street #204
New Rochelle NY 10801
914 (636) 3770

校長室の窓から

校長 中村 衛

昨年のことはもう随分昔のように思いますが、昨年末、毎年恒例となった、その年の世相を表した漢字を決める催し物が日本でありました。たまたま、テレビで昨年(2009年)の漢字を決める瞬間を見る機会がありました。京都の清水寺の舞台で大きな白い紙に、いっきに一文字を書き上げるその筆先の漢字はどんなものか、その臨場感も手伝って興味津々でした。

「新」

発表の前に、「今年(2009年)はどんな漢字が当てはまるのか」と、様々な各界の人が、「代」や「渠」などと考えていましたが、誰も当てる事ができず、予想外の漢字でした。

しかし、それだけ、期待を込めた何か選んだ人たちの心がわかるような文字でした。

選ばれた理由は、政権、スポーツ界、インフルエンザ、裁判員制度や平和への新たな一歩ということで、新しい時代に新しいことに期待を込めたものでした。

今年(2009年)の時代を表す漢字ということでしたが、来年(2010年)を見据え、新たにがんばろう、前向きな大いなる希望を考えさせられた漢字ではなかったでしょうか。

その、今年(2010年)に向けられた「新」の願いに違わぬように、本校も次年度へ、新たな一歩を歩みたいと願っています。

そこで、次年度に向け、次の二つのことを制定いたします。ソフト的な側面とハード的な側面での制定ですが、どちらも魅力ある補習授業校創りに向けて校内で議論を進めてきたものです。

先ず一つめは、校章の制定です。

本校は1962年にマンハッタンの日本語クラブに「日本語教室」として産声を

上げて以来、47年の歴史を持つ学校なのですが、本校に校歌や校章がこれまで制定されたことはありません。

地域が広く、一時4500人という児童生徒数を抱えていた本校にとって、多くの校舎校を増設、統廃合を繰り返してきたことが、制定までいきつかなかったことと推測されます。そのため、今回、校章選考委員会を発足し、募集を呼びかけることに致しました。(別紙募集)補習校を誇りに思えるようなデザインになればと願います。

補習授業校に関係のある人に呼びかけ、4月から募集を始めたいと思いますので、多数の応募をお待ちしています。

二つめは、補習校の根幹に関わるもので、ガイドラインの制定です。

補習授業校の目的はこれまでもお知らせいたしているとおおり、子ども達が、日本に帰国したときにスムーズに適応できる力をつけていく事を目的にしています。そのため、これまで示してこなかった、進級や卒業に向けての一定のガイドラインを示したいと考えています。

子どもたちの授業態度はどうか、進級基準は、卒業の条件はどうか、補習校の出席状況、宿題の提出状況、補習校に通わせるため保護者の子どもへの支援の大きさはどうかといった様々な角度から、現在、教職員と議論を進めているところです。ただ今年度中に整理できるものと、もう少し、検討しなければならないものがあるため、もう少し時間を必要としています。

それらの一定のガイドラインができていくことにより、補習校に通う子ども達の姿がより、生き生きとした姿になっていくことだと考えています。

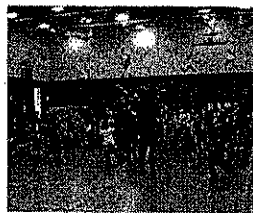
最後に、私事なのですが、この場をお借りし、一言、お礼申し上げます。3月14日の卒業証書授与式をもちまして、日本に帰国いたします。この4年間の在任期間中には、さまざまなことが、公私に渡りございました。しかし、その都度、子どもたちや保護者の方々から暖かい励ましの言葉やご意見をいただき、元気をいただきました。皆様方のご理解とご協力により補習授業校を運営させていただいたことに、心から感謝いたします。

上記の二つは残念ながら最後まで見る事が出来ないのですが、今後も子どもたちのために、更にいい取り組みが出来るよう日本でも願っております。

ありがとうございました。

各校で節分行事

1月30日の授業日には、各地区校で節分行事が行われました。子ども達の元気な「鬼は外、福は内」の声を聞いていると、春の到来が近いことを感じさせてくれる行事でもありました。



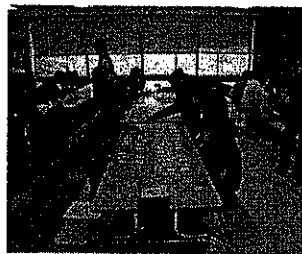
A校百人一首大会

毎年恒例のA校百人一首大会が1月30日にA校カフェテリアで盛大に行われました。百人一首にふれる機会がなかなか無い中で、年に一度のこの行事は、貴重な日本文化を学ぶ場となっています。今年も、学年の枠をこえて、熱い戦いが繰り広げられました。

大会後には父母会手作りのお餅も振舞われ、おいしいお餅を食べながら異学年同士の話にも花が咲いていました。父母会の皆さん、朝早くからの準備ありがとうございました。

【個人賞入賞者】

- 一位 溝渕有里子 (中3年)
- 二位 岩崎 悠己 (高等部)
- 三位 植木 純 (高等部)
- 四位 林田 亜嵐 (中2年1組)
- ゴルバークニコル (高等部)
- 敢闘賞 吉田 萌 (中1年)



硬筆コンクール

今年で34回を数える硬筆コンクール。

全地区校合わせて、470点の出品がありました。どの作品も力作ぞろいでしたが、その中から、入選50点、佳作77点が選出されました。入選(佳作)作品は、各地区校で展示されます。このコンクールを通して、普段から丁寧な字を書く機会をつくる努力をしてほしいと願っています。

【入選者一覧】

L I 校

- (1年) キャロル優人 喜多悠久 橋本 周
- (2年) 荒井香乃亜 ソテー理愛 パブル杏菜
- (3年) 古庄アカネ キャロル美冴 窪田万里
- (4年) 大谷桃子 白木晴華

- (5年) 古庄ミツバ (6年) 島 太郎 渡辺麻莉華
- (中1) 古庄カナ (中2) 宮崎 翔 (中3) 副島万里子
- (高等部) 森島奈緒美 喜納智恵里

WT校

- (1年) 山本彩加 八田穰一郎 甘利駿馬 ビエムアディア奈月 渡邊真之介
- (2年) 鉄村沙央里 濱口華蓮 野澤真奈 竹村 透 水野真子 赤間俊紀
- (3年) 高以良光祐 前田未来 田中佐季 上口友菜
- (4年) 大西里奈 春日井琳子 竹村美咲 仲井達弥
- (5年) 吉田 朝 山本哲也 山本葉月
- (6年) 山元夏季 塩月優花 砂原 瞳

A校

- (中1) 和田ひなの
- (中2) 安部望海 高井 滯 フォング小山紗良
- (中3) 竹山真奈
- (高等部) 坪池 順



漢字能力検定実施

1月23日、各地区校を会場として、漢字能力検定が実施されました。今回の検定に挑戦した生徒・保護者は、約85名。1年生の学習漢字が出題される10級から高校生の学習漢字と人名用漢字が出題される2級までに分かれてそれぞれ挑戦しました。検定となるとその結果が気になりますが、子ども達の真剣な眼差しや問題に取り組む姿を見ると、挑戦してみようという気持ちが持てることに、大きな意味があると感じました。次回も多数の受検をお待ちしています。

※ 今回の漢検結果は、3月上旬にお渡しする予定です。

今後の予定

授業日 (回)	L I 校	WT校	A校
2/27 (43)	<運営協議会 (WC) > (雪対策時間)		
3/6 (44)	※【主任会⑥】 六年生を送る会		
3/13 (45)	修了・終業式 卒業生を送る会	お知らせ・通知表配付	※引継会 卒業生を送る会
3/14	卒業証書授与式		

(※は先生方の打合せ)